

花いっぱい 歌声いっぱい 笑顔いっぱい 向台小学校 環境委員会

わたしたち環境委員会は、花に囲まれた向台小学校で、たくさん草花の世話をしています。

メンバーは5・6年生15人。香取校長先生や担当の石井先生・伊藤先生と、草花に水をあげたり、雑草を抜いたり、朝と放課後に活動しています。

毎月第1

月曜日は、話し合い活動の日。第



このポットに植えてね



1本ずつ丁寧に

す。夏の終わりから秋にかけて、色とりどりの花が楽し

めるはず。わたしたちの学校では、生ゴミのEM（有用微生物群）処理に全校で取り組んでいます。できた肥料は、草花の良い肥料になります。昨



笑顔あふれる環境委員会



ほくより大きいかな

がんばっていきたく思います。どうぞお楽しみください。

年 このたい肥を使って学校周りの土手に植えたマリーゴールドは、幅が1mに達するほど大きく育ちました。ことしの秋も、真っ赤なサルビアやオレンジ色のマリーゴールドなどの花につつまれた向台小学校が見られるよう、「花いっぱい 歌声いっぱい 笑顔いっぱい」を合言葉に



なかまと一緒に ● ● 和紙の芸術を楽しむ

ちぎり絵 ときわ会



お手本のように上手に張れるかな



筆で描いたようなみことな作品

わたしたちは、毎月第2木曜日に豊住公民館で、新谷洋子先生の指導を受けながら、ちぎり絵の制作をしています。

ちぎり絵は、日本の伝統的な手すきの和紙を絵の具に見立て、それをちぎり、一枚一枚のり付けをしていくものです。小さい子からお年寄りまで気軽にできる手工芸です。和紙にはいろいろな種類と特性がありま



お気に入りの作品を持って

す。絵の構図だけではなかなか表現できない遠近感や濃淡をだすために、厚みの違う和紙や、ほかの多くのある和紙を使うたりして張っていきます。

また、色とりどりの和紙の美しさは、アレンジの楽しさを教えてくれます。とにかく数多くちぎることが上達する早道です。ひとつの作品を完成したときの達成感は、感激でいっぱい。友人へのプレゼントにも大変喜ばれています。

和紙は陶器やアクリルにも張ることができ、暮らしの中のインテリアとしても心を和ませてくれます。今は年賀状などもパソコンで作る時代です。ちぎり絵で作った年賀状やカードは、手作りの魅力を改めて発見させてくれました。

ふるさと の有名な人は 太宰治と吉幾三

伊藤あい子さん(水掛)

私のふるさととは、青森県の金木町かなぎです。金木町は、津軽半島の北東部にある小さな町で、私の実家の周りには、ここ水掛と同じように水田が広がっています。

この地方は、昔は冬になると雪がたくさん積もるため、小学生のころは学校へ行くのが一苦労。深みにもくってしまつので、大人が歩いたところを探して歩いたものです。

高校のころは、津軽鉄道に乗って高校へ通学。冬にはストーブ列車も走り、激しい地吹雪の時でも車内はとつても暖かかったです。

長く厳しい冬が過ぎると、桜の美しい春が。近くの芦野公園は、日本桜名所100選にも選ばれ美しい桜が咲き誇ります。よく池のボートでこいで桜見物をしたものです。

金木町には、有名人が二人いるん



昔買った津軽鉄道の記念乗車券

ですよ。一人はこの町で生まれ、幼少期を過ごした文豪太宰治

そしてもう一人は、同級生の歌手・吉幾三さん。小さいころから歌がうまく、みんなの人気者でした。お盆のころ帰ると同級生が「いくぞうハウス」に集まり、忙しい吉さんが顔を出すことも。

結婚して成田に住みはじめて二十数年。近くに大きなショッピングセンターができ、生活も便利になりましたが、久住駅に停車する電車の本数が少ないのが悩みの種ですね。

ふるさとトーク 青森県金木町

ひろば



こんにちは
赤ちゃん

松尾美羽ちゃん(吾妻)



梶原玲望ちゃん(江弁須)

スクスク のびのび

鹿沼陸くん(4歳) 土室
仁くん(1歳)

保育園では、いつも二人ですべり台で遊ぶんだ。時々けんかもあるけど、ほんとは仲良し。もうすぐ遠足。バスに乗って「ドイツ村」に行くんだよ。パパとママも一緒だよ。



ペット大好き



根本きみさん(西三里塚)
ナナ(メス)

子どもの頃に、2回犬にかまれたことがあります。公園などで放している犬を見かけますが、「万が一遊んでいる子どもにかみ付いたら」と思うと、引き綱は放せません。犬を飼うなら、周囲のことも考えないとね。